

関係各位

令和7年10月吉日

北海道土木技術会 コンクリート研究委員会
委員長 杉山 隆文

令和7年度 技術発表会 開催について

拝啓 貴下ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

さて、このたび北海道土木技術会コンクリート研究委員会では、下記のとおり『技術発表会』を企画いたしましたのでご案内申し上げます。

我が国では、高度経済成長期に建設された構造物が一斉に老朽化の時期を迎え、更新または補修・補強が必要になっています。一方で、持続的社会の構築を実現するため、コンクリート構造物の品質確保や生産性向上も求められています。このような社会情勢に対応し、コンクリート構造物の更なる発展のために、会員企業の研究成果、設計事例、施工事例、開発した工法・製品の技術紹介など、幅広いテーマで裾野を広げた技術発表会を開催いたします。本発表会が有意義な情報交換や活発な討議の場となるよう、皆様の多数のご参加をお待ちしております。

参加希望の方は、北海道土木技術会コンクリート研究委員会のホームページ内の『お知らせ』から申込み入力を行って下さい。

なお、本技術発表会は土木学会継続教育 CPD プログラム 3.5 単位および全国土木施工管理技士会連合会継続学習制度 CPDS4 ユニットとして認定されています。

敬具

記

主 催：北海道土木技術会 コンクリート研究委員会

日 に ち：令和7年12月5日（金）

場 所：ホテルポールスター札幌 ・技術発表会 13:30～17:30 2F メヌエット
・情報交換会 17:50～19:50 2F セレナード

参加人数：技術発表会 100 名
情報交換会 60 名

※定員に達し次第締め切ります。

参加費：技術発表会 無料
情報交換会 5,000 円

※情報交換会のキャンセルについて：

申込み締め切り後のキャンセルの際は、参加費のご請求を
させていただく場合がございます。何卒ご了承ください。

申込み先：北海道土木技術会 コンクリート研究委員会 ホームページのお知らせ

申込み締め切り：令和7年11月26日（水）

<次 第>

【開会挨拶】 13:30～13:35
北海道土木技術会 コンクリート研究委員会 委員長 ^{すぎやま}杉山 ^{たかふみ}隆文

【講演】 13:35～14:25 (50 分)
題目 『コンクリート構造物に埋め込まれた物語を掘り起こす試み』
講師 北海学園大学 工学部社会環境工学科 准教授 ^{かなざわ}金澤 ^{たける}健 様

<休憩 14:25～14:35 (10 分) >

【個別発表】
発表① 14:35～15:00 (25 分) ※質疑応答 (5 分程度) を含む
題目 『PC 桁を支持する桁受け部に超高密度配筋を有する
鉄道 RC ラーメン橋台の配合設計および施工』
発表者 清水建設(株) 北海道支店 土木部
北海道新幹線札幌駅創成工区作業所 主任 ^{ほり}堀 ^{てつみ}哲巳 様

発表② 15:00～15:20 (20 分) ※質疑応答 (5 分程度) を含む
題目 『積雪寒冷地におけるコンクリート床版の非破壊検査精度向上にむけて』
発表者 ジオ・サーチ(株) 北海道事務所 課長 ^{おくだ}奥田 ^{みのり}みのり 様
(株)ドーコン 交通事業本部 構造部 グループ長 ^{おおやま}大山 ^{たかてる}高輝 様

発表③ 15:20～15:40 (20 分) ※質疑応答 (5 分程度) を含む
題目 『HAB 材を用いたアンカープレート構造』
発表者 東京ファブリック工業(株) 本店技術課 橋梁技術課長 ^{おおいで}大出 ^{くにお}邦夫 様

発表④ 15:40～16:00 (20 分) ※質疑応答 (5 分程度) を含む
題目 『亜硝酸リチウム水溶液を用いた PC グラウト再注入工法の施工事例と効果検証』
発表者 ピーエス・コンストラクション(株)
技術本部技術部 担当部長 ^{しらみず}白水 ^{ゆういち}祐一 様

<休憩 16:00～16:10 (10 分) >

発表⑤ 16:10～16:30 (20 分) ※質疑応答 (5 分程度) を含む
題目 『高炉スラグ系断面修復材を用いた新たな鉄筋腐食抑制工法の提案
～酸素濃度低減による腐食反応の抑制と環境負荷低減効果～』
発表者 (株)南組 常務取締役 ^{みなみ}南 ^{まさき}真樹 様

発表⑥ 16:30～16:50 (20 分) ※質疑応答 (5 分程度) を含む
 題目 『コンクリート表層品質の取組み』
 発表者 コンクリート・鋼構造物超耐久化研究会
 加藤建設(株) 代表取締役社長 加藤 茂樹 様

発表⑦ 16:50～17:05 (15 分) ※質疑応答 (5 分程度) を含む
 題目 『ハンチ筋を接合に用いる PCa - CFT 複合カルバートの耐荷・変形挙動』
 発表者 共和コンクリート工業(株) 技術研究所 主席研究員 國嶋^{くにしま}典裕^{のりひろ} 様

発表⑧ 17:05～17:25 (20 分) ※質疑応答 (5 分程度) を含む
 題目 『小樽ジャンクション C ランプ橋の PC 押出し架設工法について』
 発表者 東日本高速道路(株) 北海道支社 構造技術課 梅山^{うめやま} 雄多^{ゆうた} 様

【閉会挨拶】 17:25～17:30
コンクリート研究委員会 技術情報小委員会 小委員長 ^{まえだ}前田 ^{じゅんなり}淳成

※ 発表順や発表時間は、当日変更になる場合があります。